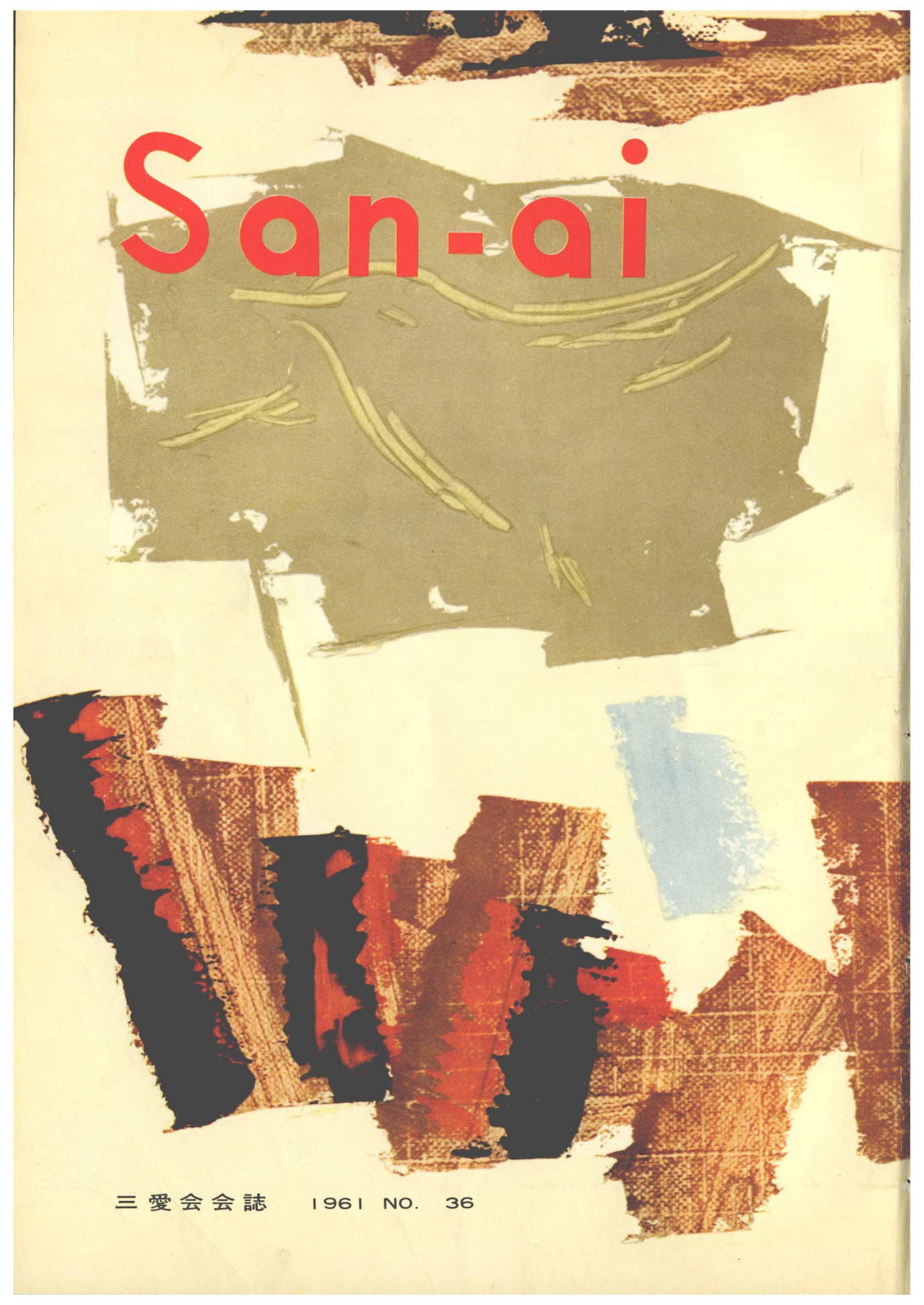


San-ai

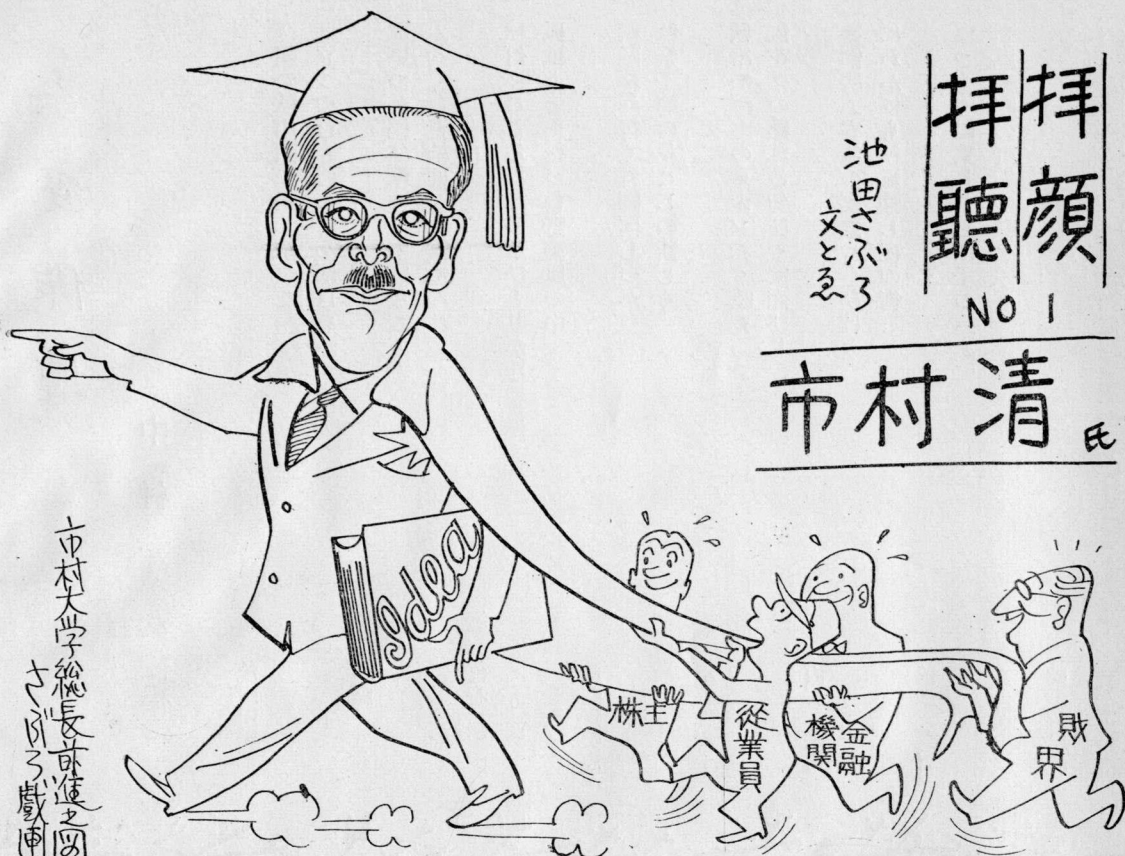
An abstract collage artwork featuring a central dark green rectangular piece with several thin, light-colored, curved lines drawn across it. This central piece is surrounded by various torn and layered paper elements. At the top, there are dark, textured strips. Below the central piece, there are large sections of brown and black textured paper, some with red and white patterns. A small, rectangular piece of light blue paper is visible on the right side. The overall composition is layered and textured, with a warm, aged color palette.

拝顔
拝聴

NO 1

市村清氏

池田さぶろ
文とる



市村大学総長前進を
さげろ、戯画

胃かいよう手術後半歳、いつおめにかかっても、手術前にまさる気魄には恐れいった。断固前進の気力のみがあの長身そう軀をささえているのだろう。あらたまつて、「拝顔拝聴」とでかけてはみたが、ミイラとりがミイラになったとはこの事だ。

(九月廿七日於社長室)

「先日おめにかかった三菱鋼材の南里社長が佐賀県、これも先月日航社長にゴールインした松尾さんも同郷、カボチャの当り年でなくて葉がくれ武士の当り年というかつこうです」

「二六会という佐賀出の財界人のあつまりがあるんですよ。毎月二十六日に二十人ぐらいのメンバーが顔を合わせる。千代田化工の玉置、日産自動車販売の中島、住友金属鉱山の田中さんなど多士才す」

「そのなかでの出世頭が市村社長サラリーマン重役の中で唯一の産業資本家ですから……。それにしても理研光学を母胎にした企業集団とでもいいですか、三愛、三愛石油、三愛計器、西銀座デパート、三愛貿易リコーマイクロ写真、東洋化工、リ

コー精機など十指近い会社が生れたのは戦後近々十年をこそこのことですが、後続部隊としては」

「すぐできるものがホテル三愛、資本金五億、札幌の中の島公園のみのりの中に土地も千八百坪買収済みで、三十九年四月には完成します。

さし当り三十五億の予算ですよ。ほかは一寸遠慮したい。明年あたり発表しますよ」

「市村学校の校長先生はアイデアのかたまりだというのが財界雀もっぱらの噂ですがそのアイデア製造のタネあかしをして下さい」

「タネもしかけもない。まず現状を否定する。なべて世の中にこれで満足、これで結構と思つたら新しいアイデアは生れない。もつとそれに代るいいアイデアはないかと年中考える。それが私の場合には習性になったのだな。入院して当てがわれた脇そく一つでも、これにスプリングでもいれたらもつと身体がらくになるし、膝にのせてよりかかるには足の安定にひと工夫すればいいと思うし改良改善次第ではその価値は倍化三倍以上します。一事が万事でせりとて

脇そくの革命に手だしをするにはこれは家具屋の分野、私は私なりの手のおえる分野ととりくみたい。

目先のことから大宇宙のことまでたえず理想を追い、夢をもつ。だからたえず心中に新しいアイデアが去来する。事務所も敢て四角、長方形に限りませんよ。この壁みたいに壁面を彎曲すれば、みた目にもやわらかみがでて気が休まる。椅子、テーブルみなそうです」

「その習性を身につけられたのはいつごろ」

「私は学歴は不十分だし、貧に育って門閥などむろんなく、健康にもめぐまれず、容貌風采またパツとしないとりえのない人間だが、武器はただ一つ、世はあげて戦国時代的な様相です。そこでよし、それならそれでこちらは人の気のつかぬところに着眼しようと考えたのです。それには現状を否定し、何か変ったものはないか、人さまが一回考えるところを十回考えることにした。看板一つをみても」

「そこからリコピーも生れたわけですね」

「早晚写真機も峠にさしかかる。

これに代るものをと六、七年前考えたのが事務機械、お家芸の感光紙とをかみ合せ、ビクターから転じてきた松浦君にアイデアを与え、つくられたのがリコピーです」

「事務能率化のハシリですが、その構想が国策的に飛躍したのがコロンビアのバナナ園の経営ではないのですか」

「南米でもペルーあたりは砂漠ばかりだが、肥沃、これにアンデス山のどてっ腹にあなをあげ、アマゾンから水をひっぱたらというようなことを数年前北南米から帰ってから一寸かいたのが動機で、国際技術協力協会の安芸さんが現地にとぶなどして、南米に橋頭ほをつくろうとかねて懇意な土屋大使の努力肝いりで、コロンビア南部ナリオ地方のトマコ町近く千四百ヘクタールの土地を手に入れたのが昨年六月既に五百ヘクタールを開墾、来年早々収かくするところまでこぎつけ、来年末には日本にも輸出しますよ」

「あれは日本の移民史上エポックを劃したものだ、内地はむろん現

地でも大評判ですが、水呑み百姓の二男三男とちがつて天理教の学校出ということ、日本の農耕技術の優秀性が高く買われているらしいですね」

「これで従来の移民政策が見なおされたいま前後十七名の青年が合宿し、現地人を使って残余の千ヘクタールの開墾と四つにくんでいますが最近では唯一つの国語とでもいうべきスペイン語も自由に操つり、現地移民の尖兵という気もちで、富谷支配人父子以下骨を埋める覚悟でやっていますよ。周囲は原始林地帯ですがこれも将来開墾を条件に無償で提供してくれるという好条件にみな氣をよくしていますね」

「南米の奥地という酷暑、しょうれいの地というのが先にきまずが」

「それは素人考えで、朝は春、昼は夏、夕方は秋の氣候で、雨は夜中に降って朝はカラリと晴れるという別天地。とても赤道直下とは思えないところ。栽培して十ヶ月めには一ヘクタールに四、五十房のバナナがたわわとみのり、そのうち良質のもの

を輸出しよう。それもいくいくは自家用船ではこぼろという肚ですよ」

「雄大な構想ですね。将来は青年の余剰人口はコロンビアへというところですが、そうしたアイデア、実践力を買って市村学校の生徒諸君が急増するのでしようが、源氏鶏太がワンマンの巷説は当然、教祖的存在だといったのはけだし名言ですね」

「ひとつまちがったら坊さんになるところ」

「それも婦人公論の夫を出世させる妻の条件を拝読しますと、少くとも酒と女は入るべからずの禪宗の坊主じゃない」

「ハハハハだ、かくしごとのできない男だから、それでこそうちには組合がない。人生はつまるところは愛情、愛は理くつをこえたもの。友人でも女房でも愛しあっている姿ほど美しいものはない。愛からは弱い者への思いやりも生れる。金力や権力、暴力とは命がけでも斗かうが、それでいて涙もろい、いい性格に生れた、ありがたと思つていますよ」